

第6回(仮称)三田西認定こども園運営方針等検討委員会 (会議の概要)

会議の名称	第6回(仮称)三田西認定こども園運営方針等検討委員会
開催の日時	令和5年8月1日(火)19時00分~20時45分
開催の場所	広野市民センター 2階 多目的ホール
出席した委員の氏名	山田会長、日浦副会長、吉田委員、藪内委員、廣瀬委員、奥本委員、中村委員、関灘委員、森本委員、下良委員、一委員、古林委員
出席した庶務職員 の職及び氏名	西垣戸子ども・未来部長、横溝子育て応援室長、藤田幼児教育振興課長、久後幼児教育振興課参事、増田幼児教育振興課副課長、亀島幼児教育振興課副課長、川崎幼児教育振興課主任、坪倉幼児教育振興課職員、管幼児教育振興課職員、岩元幼児教育振興課職員
その他出席者	0人
傍聴人の人数	6人
議 題	1 協議・報告事項 (1) 認定こども園の名称について(報告) (2) 幼稚園・認定こども園の募集内容について(報告) (3) 認定こども園の運営基本方針について(報告) (4) 通園バスの基本ルート及び乗降ポイントの設定について(報告) (5) 他市認定こども園保護者会等の事例について(報告) (6) その他
会議の概要 (結論)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの園と地域との関わりをつないでいけるよう、こども園において活動内容やその方法等を探りながら具体化していく。 ・通園バスの出発点についてのご意見をいただき、改めて試走して検証を行うこととする。 ・9月21日の見学会・説明会では、アプリ機能や安全対策についてできるだけ具体的に示し、イメージを持っていただけるような説明の仕方を工夫していく。 ・現在は工事中であるが、新しい園舎を見ることができるとの機会を検討する。
公開・非公開の区分	公開
使用した資料	認定こども園の名称について、令和6年度三田市立幼稚園及び認定こども園の園児募集内容について[別紙1・2]、三田市立認定こども園の運営基本方針について、通園バスの基本ルート及び乗降ポイントの設定について、他市認定こども園保護者会等の事例について
連絡先	子ども・未来部 子育て応援室 幼児教育振興課 電話 (079) 559 - 5232

1 開会

- ・西垣戸子ども・未来部長あいさつ

事務局

本日の委員会につきまして、委員の皆様のご出席をいただいておりますので、会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。

また、会議は公開となります。現時点での傍聴者は6人です。

なお、本日は1時間30分程度の会議時間を予定しております。委員の皆様方には円滑な議事進行にご協力を賜りますようによろしくお願い申し上げます。

続きまして、次第の2点目、議事に移らせていただきます。

ここからは、委員会の進行を山田会長にお願いしたいと思います。山田会長、よろしくお願いいたします。

会長

広野幼稚園も工事に入りました。本日も色々と報告事項がありますが、しっかりと協議していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、協議・報告事項1点目、認定こども園の名称について、事務局より説明をお願いいたします。

2 協議・報告事項

(1) 認定こども園の名称について

事務局より2/5ページにて説明

会長

ただいま説明にありました内容につきましてご意見、ご質問はございませんか。

特にご意見がありませんので、資料のとおり進めさせていただきます。

続きまして、協議・報告事項2点目、幼稚園・認定こども園の募集内容について事務局より説明をお願いいたします。

(2) 令和6年度三田市立幼稚園及び認定こども園の園児募集内容について

事務局より2/5ページ〔別紙1・2〕にて説明

会長

ただいま説明のありました内容につきましてご意見、ご質問はございませんか。

委員

入園に係る書類配布等について、アナウンスはどのように行なわれますか。

事務局

9月の市広報誌とホームページに掲載いたします。

委員

1号認定の預かり保育について、教育標準時間の14時以降から19時までを利用した場合、料金区分のD・E・F・Gの加算となりますか。

事務局

料金区分FはGに含まれていますので、D・E・Gの料金区分となります。

委員

朝7時からになっているのは、土曜日などの預かり保育をイメージしてA～Gの設定となっているのですか。

事務局 通常の保育日は8時30分からの登園となっていますので、それよりも早く預けたい方は区分Aを利用することが可能です。

委員 これだけの保育をするには、こども園の先生は何人くらいになりますか。

事務局 3・4・5歳児の担任の先生が基本1名ずつ、それに加えて、朝7時から夜7時までの時間で3パターンの勤務時間を設定し、複数の職員でローテーション勤務することとしています。また必要に応じて特別支援の加配の先生、園務員などを配置します。現在の広野・藍・本庄の3園を合わせた職員数、おおよそ10数名を考えているところです。

会長 他にご質問はございませんか。

委員 今いらっしゃる園区外の方はそのまま認定こども園に入れますか。

事務局 令和6年度の募集人数は、今在籍されている園児さんを除いた人数となっています。

会長 他にご質問はありませんか。

委員 現在の園区内の人数やこども園に来られるだろうという人数はわかりますか。

事務局 前回の資料「令和5年4月現在の就学前施設在籍状況」では、広野・本庄・藍地区で住民登録をされていて、現在私立の就学前施設などに在籍されていないお子さまは43名となります。

委員 43名と今いらっしゃる5歳児(現4歳児)を足した数が、大体想定される人数ですか。

事務局 43名に5歳児は含まれています。それ以外にそれぞれの学年に2号認定のお子さんが5名ずつ入っていただく枠を設けています。

委員 別紙2の4ページ・Q2で、1号認定の預かり保育について、「こども園に入園後、利用していただけます。※事前の申し込みが必要です。」とありますが、入園式の次の日に預かり保育を希望されることも想定されますので、事前に申し込むことは難しいかと思えます。

事務局 確かに入園されていない状況での事前申し込みは難しいと思えますので、そのあたりも混乱のないように準備をしていきたいと思えます。

会長 かなり複雑な部分がありそうですので、出来るだけ丁寧にやっていただきたいと思えます。

他にご質問がないようですので、この件に関しましては、説明のとおり進めていただきたいと思えます

続きまして、協議・報告事項3点目、認定こども園の運営基本方針について事務局より説明をお願いいたします。

(3) 三田市立認定こども園の運営基本方針について
事務局・幼稚園職員より3/5ページにて説明

会長 ただいま説明のありました内容につきまして、ご意見、ご質問がある方はお願いいたします。

委員 教育・保育の基本方針の「③地域に根差し、地域に開かれた教育・保育の充実を図る。」とありますが、藍地域の方からすると園がなくなってしまうので、この地域に含まれているイメージはないと思います。

藍地域の方と交流や園児が参加できる行事は続けてもらいたいと思います。具体的に藍、本庄とどのように関わっていくのかが気になります。

委員 地域それぞれの良さがあり、子どもたちはご家族や地域の方から、たくさん愛情をもらっていると感じています。現在、園の子どもたちは地域に出かけていき、田植えをさせていただくなどいろいろ経験させていただいています。それを全部同じようにはできないかもしれませんが、例えば、3・4・5歳の1学年ずつでも地域の方に行かせていただくなど繋がっていただければと思います。

会長 園バスを利用すれば行けそうですね。

委員 園職員の作業部会では、地域との交流について検討するグループがあります。現在の藍・本庄・広野の地域とのいろいろなつながりをどのように残していけるのか。全てはできないかもしれないですが、「これは残したい」、「では残すためにはどのようにしていくのか」など具体的に話をしています。私たちが考える地域は広野だけではなく、藍・本庄と大きな地域と考えております。そこをご理解いただけるように各地域の皆さまに説明させていただき、またそれぞれの地域に出かけて行くなどしながら繋がりを深めていきたいと思っています。

会長 他にご意見、ご質問はございませんか。

実際に動き出して先生方がこれにどう肉付けしていくかが大事ですし、先生方で作業部会を作っているいろいろ考えていただいているようですので、広野・本庄・藍の地域の範囲が広がるという発想で取り組むように、これからは新しい視点で全て考えていくようにしましょう。

それでは、この件に関しましても説明のとおり進めていただきたいと思います。

続きまして、協議・報告事項4点目、通園バスの基本ルート及び乗降ポイント設定について事務局より説明を求めます。

(4) 通園バスの基本ルート及び乗降ポイント設定について 事務局より4/5ページにて報告

会長 ただいま説明のありました内容につきまして、何かご意見、ご質問がありましたらお願いします。

委員 乗降ポイントからの園までの乗車時間は、何をもとにされているのですか。実際に走行したのですか。

事務局 実走し、グーグルのルート検索で測定しています。時間帯によっては、多少前後するとは思いますが。

委員 今日、実際に走ってきましたが全く違います。東浦公園前から大音所公民館前までは10分はかかります。実際にいつ走って確認したのですか。

事務局 昨年度、一昨年度に実走しました。

委員 このルート自体がおかしいと思います。なぜ、東浦公園前が最初の乗降ポイントになるのですか。

事務局 青野方面にバスが出ていますので、保護者の皆さんにご協力をいただくことで、このポイントを設定しました。

委員 なぜ、始発がここになるのか。一番遠い所から乗車するのであれば、大音所公民館前から乗車するのが普通ではないですか。東浦公園前からだと、大音所公民館前まで行って東浦公園前に戻って来ることになり、距離がかなり違ってきますから、東浦公園前で乗る子どもはかわいそうです。

大音所公民館前から東浦公園前に向かうという発想はなかったのですか。

事務局 現在把握している範囲では、大音所公民館前でバスに乗られる方がいらっしゃらないので、令和6年度についてはこのルートを設定させていただいております。乗車される子どもさんがまだ決まっていませんので、すべてのポイントに行くことについては確定していません。

委員 それならば今の段階でこのルートを出すのはおかしいのではないですか。このルートでいきますと言われても、時間もルートも違います。

事務局 時間につきましては、再度検証いたします。

委員 時間も距離も違います。東浦公園前から須磨田に行く距離と大音所公民館前から須磨田までの距離だと1kmほどの差があります。小さな子どもを乗せてそんなルートはないと思いますよ。

会長 これは、もう一度調べ直した方がいいと思いますよ。

委員 本庄地域の人が見たら、みんな分かりますよ。少しでも子どもの負担を減らそうという話を最初からしていたと思います。本当に子どものことを考えてこのルートを決めたのですか。

事務局 当初は本庄の閉園となるお子さんを乗せることを前提に考えていまして、そののち広野のお子さんも乗せることになったことから、今回のルートを設定させていただきましたが、距離が長くてお子さんの負担が大きくなるということです。再度この部分については検討させていただきます。

委員 子どものことを中心にもっと真剣に考えてください。

会長 吉田委員のご意見は、もっともだと思います。実際に走ってみてしっかり確かめた方がよいと思います。

事務局 再度検証させていただきます。

- 委員　　子どもたちの入園が決まって、どこからバスに乗るのか決定してから正式なルートを考えていただきたいと思います。
確認ですが、乗降ポイントを行きと帰りで変えることは可能ですか。
- 事務局　　基本的には同じポイントと考えていますが、毎日変えるのではなく、決まったポイントで行きと帰りを決めることについては対応していけたらと考えています。
- 委員　　バスに乗る時にアプリを使って管理するという話があったと思うのですが、そのあたりはどのようなになっていますか。
- 事務局　　登降園システムの導入を検討しておりまして、その中の機能の一つとして、保護者の方にアプリを入れていただき、バスの運行場所をGPSでご確認いただけるようなシステムの導入を考えています。
- 委員　　アプリでいろいろな機能があるということですが、詳細についてはまた教えていただけますか。
- 事務局　　登降園されたときに、保護者の方に連絡が入るシステムなどの導入も検討しておりますが、まだ正式に決まっていません。具体的に決まりましたら、この検討委員会でお示しさせていただきます。
- 委員　　バスに取り残されるという話から、アプリで人数を確認すると聞いたと思いますが、機械に頼るだけでなく園でも人数の確認をしないと事故が起こります。アプリからデータがきて、先生がどのように子どもの人数を確認するのかを実際に見てみたいです。保護者にするとバスは初めてのことなのでやはり不安があります。
昨年のバスの取り残し事故でも、ホワイトボードの人数と実際の人数が違っていたとニュースで見たので、見学会でどのように確認をされるのかを実際に見せてほしいです。
- 事務局　　9月の見学会では、システムなど具体的に確定はしておりませんが、その時点で考えていることやシステムについて分かる範囲でお伝えさせていただきます。
バスについては、安全装置の義務付けがされていますので、アプリとは別に安全装置で取り残しを防ぎます。園の方でも今後取り残しを防ぐためのマニュアルを作成していきますので、ご説明できる範囲にはなりますが見学会でお伝えさせていただきますと思います。
- 事務局　　安全確保については、我々も一番に考えないといけないところです。バスの取り残し事故は、昨年、一昨年とありました。その時の事例を見ていますと、バスから降りた園児の確認や教室での出欠確認を怠り、結果として置き去りになってしまい事故がおきてしまいました。アプリの運用とは別のところで基本的なことを整理して、保護者の方に安心していただけるような環境を作りたいと考えております。9月の時点でお話しできる材料をそろえていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。
- 会長　　具体的にもっと詰められているのかと思っていました。見学会までには時間がありますので、保護者の方に対してアピール力が落ちてしまわないようにそれまでには安全に関してきっちりと詰めておかないといけないと思います。

委員 入園を考えておられる保護者の方もいらっしゃるので、バスに子どもを乗せて園に向かい、園で過ごしてバスに乗って帰ってくるまでのイメージをお聞かせください。

委員 バスに乗るか乗らないかを家族で話し合っているところです。バスに乗ることにしても3分間の停車時間のあいだにさせないといけないというプレッシャーがあります。最初のポイントで子どもが泣いてしまい乗車に時間がかかるとバスが遅れ、後で乗車する子を待たせてしまうこととなります。そうなのであれば、うちは乗車を避けて後から車で送ることになると思います。その時点で運転手さんに乗らないと伝えることになると、乗る人数が変わり先生方が混乱されると思います。そうすると、連絡方法やバスの乗車人数をどのように管理されるのか気になります。

バスを降りて、教室に入る人数を先生方が見てくださり、運転手さんが忘れ物の確認をするなどバスの中を確認してくださると思っています。帰りのバスでは、子どもは寝ていると思うので起こしてもらって帰ることになると思います。今までは車なので自分で降ろしますが、これまでリズムも変わるのでバスを利用するかは要検討です。保護者の方は、いろいろな考え方がるのでバスに乗せたいと言う方もいらっしゃると思います。

会長 他にご質問はございませんか。

委員 アプリは間に合うのですか。

事務局 1月の検討委員会で保育システムや通園バスの安全対策等についての報告をさせていただき計画をしています。アプリ、システムについてはできるだけ機能のいいものを導入するために選定しているところですが、できるだけ早い時期にできる範囲で報告させていただければと思っています。乗車されるまでには、少なくともご理解いただけるようにご説明させていただき、ご乗車いただけるように準備をすすめたいと思いますのでよろしくお願いします。

会長 ご意見も出尽くしたようですので、この件に関しましては、問題点も多々ありますので、引き続き調べてやっていってください。

続きまして、協議・報告事項5点目、他市認定こども園保護者会等の事例について事務局より説明を求めます。

(5) 他市認定こども園保護者会等の事例について
事務局より 5/5 ページにて報告

会長 ただいま説明がありました内容につきましてご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。

委員 PTAそのものの在り方が変化してきています。ご覧になった方もいらっしゃるかもしれませんが、テレビのニュース番組で放送されていました。PTAそのものがなくなってきていて保護者会という形の中で、保護者に対してアンケートを取り、できる人、やってもいいですよという人を中心に役員を作っていく。また年間行事を示し、チラシや募集をかけたりにして、人の確保をするというやり方が徐々に広がりつつあると報告されていました。時代の変化とともに、ひとつの方法としてそういう形に変わりつつあるのかなと思いました。

会長 確かに変わってきていますね。どちらにしても我々がどうこうと言う問題ではなく、認定こども園ができて、保護者の皆さんに考えていただければと思っています。

以上、本日の協議・報告事項の5つが終わりました。その他について、何かご意見、ご質問はございますか。

(6) その他

委員 みつば幼稚園の見学会・説明会が9月21日に設定されていますが、この時点では施設の見学はできない、バスのアプリを入れようと思っと思っていますとの説明では、何を基準にこの園に入りたいと思ってもらえるのかと思います。

改修工事が終わってきれいな施設を見てもらい、バスも安心して乗せられるなど安心材料のメリットがあると子どもを預けられますが、魅力がないと保護者としてはここにしようと思えないと思います。そもそもアプリも1月では遅いと思います。入園申込の時期が設定されていますので難しいのかもしれませんが、新しい園を見てもらうなど、「みつば幼稚園」は魅力ある良いところです、ぜひ来てくださいと言えるようにしていただけたらと思いました。

事務局 9月21日時点では施設も工事中で、施設についての詳細はお伝えできないと思いますが、見学会の日程は、入園申込の日が関連しております。見学場所は広野小学校になりますが、当日は保育方針や活動内容をご覧いただけるかと思っいます。

令和6年度に入園されるお子さんを対象に入園説明会を1月あたりにさせていただきます機会がありますので、その時には工事も落ち着いて、新しい園舎で施設等もご覧いただけるかと思っいます。工事期間は外構工事も含めまして、12月末までになると考えております。年が明けまして、新しい園舎になりましたら、委員の方にも内覧会という形でご覧いただけたらと考えております。

委員 見学会・説明会については、どのように説明すれば園に来ていただけるのかを考えているところです。お伝えしたいことはたくさんありますので、認定こども園のイメージをできるだけお伝えできるように工夫したいと思っいます。

園舎のイメージ図があればよいのですが、工事中の写真をお見せしてもイメージがつかないと思っいますので、皆さんに魅力ある認定こども園ができることをお伝えできればと思っいます。工事全体が終わるのが12月ということですが、園舎内の工事が終わりましたら子どもたちは園に戻ります。11月24日金曜日に「うさぎっこクラブ」という未就園児の方を対象とした子育て支援のご案内をしております。工事の関係で変更になるかもしれませんが、新しくなった園舎を見てもらえる機会を設けようと思っっています。ぜひお越しいただけたら嬉しいなと思っいます。

会長 これに関しまして、ご意見はございませんか。

私は、10月くらいに工事が完了し、すぐにでも委員の皆さんで中を見学して子どもたちの動線などを確認しておいた方がいいと思っっていました。工事完了を待っていたら遅くなりますし、事務局には、できるだけ早い時期にそういう機会を作っていただきたいと思っいます。

委員 改修工事が終わりましたら、そこで検討委員会をするのもいいかと思っいます。

事務局 園舎の工事が終了し中に入れるのが11月半ば頃、外構工事が終わるのが12

月 20 日の予定となっております。1 月にそういう機会を設けることができるように、今から検討し準備をしていけたらと思います。

委員 もっとしっかり準備をして、園舎が完成してからの開園でもよかったのではないかと今さらですが思います。

委員 9 月 21 日の説明会の時に完成予定図など用意することはできるのですか。よくモデルハウスなどで完成するところという形になりますとか、写真ですとかを提示はできるのですか。スクリーンとかに写したりできますか。

事務局 設計図面やパースなどをご覧いただけるとはと思いますが、具体的に資材などをその都度選びながら工事を進めていますので、事前に準備が難しいことをご理解いただき、設計図面等で示せる内容で見ていただけたらと思います。

委員 できるだけ具体的にお示ししてイメージを持ってもらえるような説明の仕方を是非工夫をしてやってください。よろしくお願いします。

会長 できないことではないので、お願いいたします。
他にご意見はありませんか。
それでは、本日の議事は終了いたします。委員の皆様におかれましては、長時間にわたりありがとうございました。事務局から何かございますか。

事務局 山田会長、ありがとうございました。
委員の皆さまも、円滑な会議運営にご協力いただきありがとうございました。

3 次回の日程等について

事務局 次回の委員会は、各委員の日程調整を行い、令和 5 年 10 月 19 日にふれあいと創造の里で開催することに決定した。
本日の会議録については、速やかに作成し、各委員に内容確認のご依頼をさせていただきます。